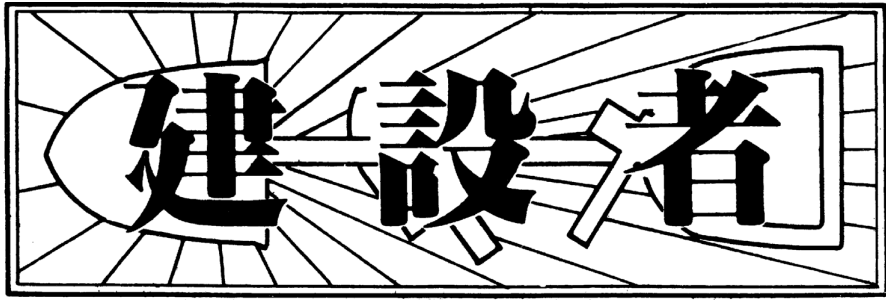


今月の葛飾組織現勢

2022年12月1日	4,245人
加 入	42人
転 入	1人
脱 退	49人
転 出	4人
2023年1月1日現在	4,245人



東京土建一般労働組合

葛 飾 支 部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4

電 話 (5698) 1 2 6 1

FAX (5698) 1 2 6 2

発行人 関 根 伸 正

北水元分会 杉浦年春さん

4輪車のレストアはやめられない



杉浦さんの手によってレストアされた【ホンダ Z360】

これまで40台をレストア

ブレーキ以外は全て自分で直す

「趣味は、4輪車のレストア。」と語る杉浦年春さん(北水元 外構工事 72歳)。今所有するレストアした車は、1960年代に発売された3

台。ホンダのZ360、マツダのポーター360、マツダのB360。色んな情報網から車を購入します。

「レストアするために古く

なった部品をインターネットなどで部品を購入、もしくは自分なりに修理して最終的には車検を通す。ブレーキ回りは、全部自分で直しま



杉浦年春さん

す。これを続けて早や40年。いつもレストアして3年位で手放してしまう。そして、また新たに車を購入してレストアする。これを繰り返して今まで40台になったかもしれない。」と。「360ccが好きなのは小さい車が好きだから。それらを入れるガレージ兼作業場も自分で作り上げた。」とも。

16歳で仕事も趣味も

杉浦さんは、葛飾生まれで16歳の時に父親の仕事を手伝う形で建設業(とび)に関わり始めました。「昼間は仕事をしながら夜間学校に通っていました。最初に興味を持ったのが、オートバイ。近くの



バイクも常に4~5台

4月にイベント

今後の予定は、4月に上尾市のアリオで行うイベント。このイベントには、レトロカーが250台も集まる巨大なもの。杉浦さんも参加を予定しています。

スクラップ屋で壊れたバイクを安く購入して、自分で直していた。」と。実際このころは、車やバイク関係の業界に進みたかったが、家庭の事情であきらめたとのことでした。その後30歳で結婚してから、4輪車に興味を持ち今に至ります。もちろん、バイクも今も健在で、常に4~5台を所有。やはり自分でレストアしています。自分で直せる中でも好きなメーカーは、「ホンダがやっぱりいい。」と話します。杉浦さん。70歳を超えたこれからの仕事はもちろん、この趣味の世界でもまだまだ活躍は続きます。

寅さん

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。2023年はどんな年になるのでしょうか。望むのは、平和の世界であらう。

昨年の一年を表す漢字が【戦】。北京オリンピックや、ワールドカップの日本の奮闘をたたえた漢字でもあったとは思いますが、明るい1年を表現した漢字ではないと思うのは私だけではないはずだ。そこには、ロシアのウクライナ侵攻が大きく影響している。そして、その延長線上で日本の防衛費増額の話がある。岸田内閣は、昨年末に防衛費における増税の話をはじめ、原発政策の大きな方向転換をした。日本が危ないから軍備を増やす、温暖化、燃料費高騰だから原発を進める。と簡単に考え日本の方向を決めているのではないのか。この政権には過去の経験を活かすつもりはないのかと思ってしまう。自分の意志で日本の政治家となった以上は、平和で安全な国家をめざすために、他国以上の外交における努力、内政における努力が必要であるはずだ。簡単に決めすぎである。

今年は、10月にはインボイス制度が始まる予定となっている。そして、コロナ、ウクライナ、物価高など大きな問題が山積している。一方では、WBCやラグビーワールドカップ、サッカー女子ワールドカップも開催される。昨年のように日本が明るくなる結果を期待したい。

インボイス学習会に56人が参加



多くの参加があった学習会

葛飾支部 及川執行委員長

分会・支部の更なる活性化をめざす



及川執行委員長

組合員、家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

昨年も新型コロナウイルスが一向に収まらない中、成田で二泊開催での活動者会議、

秋には全分会で住宅デーなど

行うことが出来たこと、皆さんの協力の元ありがたうございます。

今年もインボイスの学習会やアスベスト問題で資格の取得が必要になることなど、組合員さんが仕事をする上で、大事な課題があります。

また、分会、群の役員体制の確立、併せて、任期制の討議、ハガキ、署名、要請行動

の向上化。賃金の問題では、

ロシア、ウクライナによる戦争で原油高騰で物価高に對して、組合員さんの賃金も比例してアップを目指す行動なども取り組むことで、分会、支部がより活性できるように執行部としても頑張っていくますので、今年もみなさまのご協力賜りますよう、本年も宜しくお願いします。

様々な立ち位置の働き方に影響

急いで登録をせず情報収集を

【税金経営部担当 山澤書記】11月25日（金）に葛飾支部にて葛飾支部の第4回目となるインボイス学習会を開催しました。講師には、葛飾支部の書記が講師となり開催しました。参加者は56名。

今回の学習会では、元請けや一次下請けとなる事業所や、一人親方など様々な立ち位置の方が参加していただき、インボイス制度が注目され自分に関係がある制度なのかと不安を覚える組合員が多

くいらっしやいました。今回もインボイス制度学習会の内容として、基礎となる消費税

金町駅頭宣伝

減税を求める声を聞く



学習会に25人が集まる

【税金経営対策担当 山澤書記】11月24日（木）に金町

駅前北口にて、消費税増税反対・インボイス制度導入中止の駅頭宣伝行動を行いました。参加者は総勢20名（土建12名）。

今回の駅宣行動でも、消費税の減税に賛成か反対かのシール投票を行い、賛成が25・反対3という結果となりました。前回よりは少ない投票

でしたが、コロナ禍・物価が上っている中で消費税を下げて欲しい声がありました。また、インボイス制度についても、もし導入をしたら中小企業がつぶれてしまうとの声もあり、私たちの暮らしに直結する悲痛な声が上がりました。

確定申告

準備は大丈夫？

毎年行っている確定申告学習会及び、相談会は、左記の日程で行います。年に1度の確定申告に向けた準備は整っていますか。

確定申告学習会

日時：1月25日19時開始
会場：葛飾支部会館3F
講師：村本本部副主任書記

確定申告相談会

日時：2月16日（木）～3月15日（水）10時～16時
※12時～13時はお昼休憩の為お休み
また、3月13日は集団申告の為お休みとさせて頂きま

※今回は、来年導入予定である、インボイス制度の相談も兼ねるので、インボイス制度の相談される方は2月の相談にお越しください。

3月にお越しただく場合、インボイス制度の相談は時間の関係上できない場合がございます。来年にもインボイス学習会を企画しますので、ぜひお越しください。

建設アスベスト訴訟

建材メーカーから賠償を

アスベスト訴訟は、2021年5月の最高裁判決で、国の規制権限不行使（マスク着用と警告・揭示義務付け不履行）の違法や一人親方や中小事業主に対しての国の賠償責任を認めただけ、建材メーカー大手の一部被告の責任も認める判決となりました。この判決をうけ、首相の謝罪、公労大臣と原告の間で基本合意書が締結されました。

【基本合意書の内容】

○国の原告への謝罪
○提訴中の国と原告との和解
○未提訴被害者の支払基金創設

○継続協議

この判決をうけて、国との和解が進み、現在まで和解対象の全被災者数1011人に對して、判決・和解成立は914人になっています。

ただし、アスベスト建材製造企業は、これまでの判決を

受けても、被害者へ向き合うことはしていません。そのため、昨年6月にアスベスト建材メーカー訴訟を全国10の地方裁判所で建材企業に対して一斉提訴をしました。

また、葛飾区においても、筒井区議のお力添えをいただき、昨年6月の区議会で、「アスベスト建材製造企業の賠償実行と「特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求める意見書」が全会一致で採択されています。

今年はアスベスト訴訟の4つの裁判で結審となります。裁判の中で、建材メーカーへの賠償を命じる判決が連続することが予想される現状です。建材メーカーが、和解協議に応じるためにも、私たちの運動も大きな力となりま



昨年5月20日の建設アスベスト集会（日比谷）

久しぶりの たつみ分会バスレク

沼田方面を楽しんだ1日



たつみ分会バスレク みんなで楽しみました

【たつみ分会教宣部 村越義二】11月27日(日) たつみ分会ではバスレクを行いました。新小岩駅東北広場を出発したバスが向かった先は沼田方面。最初に道の駅アワードNo.1に輝いた川場田園ブライザに到着。何組かの人達はすぐに人気の米粉で出来た食パンのお店で整理券を貰おうとしましたが受けとり時間がバス出発時間より後で断念!! 他のお店も入場制限や混雑で皆さん苦労して買い物をしていました。昼食は茅葺き屋根の湯宿で地ビールなどを楽しみ希望者の温泉入浴も兼ねました。午後はリンゴ狩りでしたが食後間もなかったためあまり食べられなかった人が結構いました。この農園の売店でお土産を買って帰りのバスでのビンゴで盛り上がり、渋滞もなく予定より早く到着して解散となりました。

2022年 年間拡大到達表

	2022年 1／1 人員 基準	年間 目標	第1ラウンド				第2ラウンド				第3ラウンド				年間 到達	年間 残数	到達率	2023年 1／1 人員	前年 対比 増減
			春一番 (2.5%)		春月間 (3.5%)		夏日常 (2.5%)		秋月間 (3.5%)		年末 (1％or残)								
			目標	到達	目標	到達	目標	到達	目標	到達	目標	到達							
た つ み	491	64	13	7	17	19	12	5	17	17	5	2	50	14	78.1%	478	－13		
奥 戸	398	51	10	3	14	17	10	7	14	15	3	2	44	7	86.3%	384	－14		
本田立石	325	42	8	3	11	7	8	3	11	11	4	1	25	17	59.5%	324	－1		
青 戸	155	20	4	4	5	5	4	1	5	5	2	4	19	1	95.0%	147	－8		
中 央	398	52	10	13	14	14	10	9	14	16	4	3	55	－3	105.8%	382	－16		
堀 切	262	34	7	16	9	9	7	8	9	10	2	3	46	－12	135.3%	262	0		
亀 有	373	49	10	8	13	6	9	3	13	13	4	6	36	13	73.5%	383	10		
細田高砂	379	49	10	11	13	15	9	10	13	13	4	9	58	－9	118.4%	377	－2		
柴 又	180	24	5	2	7	3	4	2	7	7	1		14	10	58.3%	176	－4		
新 金 町	315	41	8	1	11	11	8	2	11	12	3	3	29	12	70.7%	299	－16		
北 水 元	200	26	5	2	7	7	5		7	8	2	2	19	7	73.1%	182	－18		
幸 田	275	36	7	4	10	14	7	5	10	11	2		34	2	94.4%	271	－4		
水 元	376	49	10	8	13	15	10	7	13	14	3		44	5	89.8%	377	1		
そ の 他	181	24	5	2	7	12	4	5	8	8	1	1	28	－4	116.7%	179	－2		
合 計	4308	561	112	84	151	154	107	67	152	160	40	36	501	60	89.3%	4221	－87		
支部目標			112		151		107		152		40								

今年も始まった 春一番拡大 年間実増を視野に取組もう

2022年は、春・秋の拡大月間を超過達成。さらには秋の月間では2015年秋の拡大月間以来7年ぶりの全方会達成となりました。
年を締めくくる年末拡大では目標40人に対して、36人の拡大で目標達成とはなりませんでした。それでも、5人の超過達成をした細田高砂分会をはじめ、青戸・堀切・亀有・新金町・北水元の6分会が達成をしました。
2022年は、年間拡大目標561人に対して、501人の加入(89.3%)。年間目標達成分会は、中央・堀切・細田高砂の3分会。
最終的に、2023年1月1日付組織人員は、4221人で、2022年1月1日4308人に対して、87人の組織減少。そんな中でも、組織実増した分会は亀有分会・水

元分会の2分会となりました。
ここ10年間の組織人員推移(1月1日)は左記の通りです。

2014年4741人	減少
2015年4687人	減少
2016年4641人	減少
2017年4565人	減少
2018年4613人	増勢
2019年4552人	減少
2020年4488人	減少
2021年4390人	減少
2022年4308人	減少
2023年4221人	減少

1月に入り、春一番拡大月間突入しています。労働組合に仲間を増やす取り組みは欠かせないです。周りに未加入の仕事を仲間がいたら、ぜひ組合加入を進めていきましょ。統一行動日は左記のとおりです。
【統一行動日】3日
1月26日(木)・2月22日(水)・3月8日(水)



12月4日開催の集団健診

12月4日(日)に第4回目となる支部集団健診をテクノプラザかつしかで行いました。健診受診者は、143人でした。また、同会場では特定保健指導も行っており、周知が進んだせいか今回は7人が利用しています。特定保健指導の利用は、健診受診と同じように、利用者が国保への補助率も関係している取り組みで、葛飾支部は、利用者

集団健診に143人

特定保険指導は全都1位に

数が26人で東京土建の中で1位です。東京土建国保を守る私たちができる取り組みです。みなさんの健康のために、年に一回無料でできる健康診断を受けて、健康管理をすすめましょ。

現在、土建国保加入の組合員のみならず今年度最後の集団健診の案内をしています。左記の通り実施予定ですので、2022年度まだ健康診断をされていない方は、申込をしましょ。

【今年度最後の集団健診予定】

日時：3月12日(日)
会場：テクノプラザかつしか
締切：2月28日(火)

※申し込みは、チラシをご利用ください。また、健康診断は最寄りの提携医療機関でもできます。ご不明な点は支部までお問い合わせください。

サッカーが熱い

南葛SC選手が来る

東京土建葛飾支部 教育宣伝部・後継者対策部 × 南葛SC
あの南葛SCが東京土建に来る!!
南葛SCインタビューイベント
ワールドカップで日本代表として活躍する日本代表の活躍で大きく盛り上がった記憶はみなさんの中に鮮明に残っているでしょう。そんな中、東京土建葛飾支部では、教育宣伝部と後継者対策部の共催で、南葛SCの選手へのインタビューイベントを企画しました。選手の生の声を聞くことができるイベントです。参加資格は、①興味があること、②組合員とその家族だけです。多くの申し込みをお待ちしています。
日時：2023年1月28日(土)14時開始
会場：南葛土建一般労働組合 葛飾支部会館
定員：50人予定 締切：1月20日(金)

残っているでしょう。そんな中、東京土建葛飾支部では、教育宣伝部と後継者対策部の共催で、南葛SCの選手へのインタビューイベントを企画しました。選手の生の声を聞くことができるイベントです。参加資格は、①興味があること、②組合員とその家族だけです。多くの申し込みをお待ちしています。
日時：1月28日(土) 14時
会場：葛飾支部会館
募集：50人予定
締切：1月20日(金)

CCUS登録

24年3月末までに
レベルアップを

全国でCCUS技能者登録が進んでいます。東京土建全体を見ると技能者登録の件数は1万件を超えましたが、レベル判定は100件程度の1%の仲間のレベル判定に留まっています。

24年3月末までにレベル判定を受けないと、24年4月以降にレベル判定をしてもCCUS登録前に遡った経歴・就業履歴の証明ができなくなります。そうすると、上位資格を保有しているレベルを上げる能力評価に必要な就業日数の蓄積をするための年数がかかります。そうならないために、白カードを所持されている方は、レベル判定を24年3月末までに受けるようにしましょ。
職種によっては東京土建で対応できない職種もあります。ご不明な点は、葛飾支部までお問い合わせください。



神宮さん夫妻（右：和夫さん・左：恵美子さん）

中央分会 神宮和夫さん・恵美子さん
いつまでも笑顔絶えない夫婦仲

葛飾支部と共に歩み、支部厚生文化部長を長く務めあげ、今では葛飾支部で最高齢となる、今年年男の神宮和夫さん（中央分会 鉄骨）。今年の誕生日を迎え96歳になります。そして、和夫さんと共に歩んできた妻の恵美子さんも今年84歳の卯年です。夫婦仲が良く、笑いが絶えない中での取材となりました。

今年一年について、和夫さんは、「みんなが元気に過ごせたら良い。今でもできることは協力していきたい。」と。恵美子さんからも和夫さんは、「会話を楽しんでいる。食欲もある。とても元気。」と笑顔でお話いただきました。

長い組合活動の中で記憶に残ることについて和夫さん

は、「どげん火災共済を立ち上げた時が大変だった。実績がない状態で加入を進めるために厚生文化担当書記と一緒に分会や、組合員訪問を重ねてきた。」と当時を思い出しながら苦労話を笑顔でお話いただきました。

今も以前と変わらず夫婦ともに元気で健在。夫婦仲も笑いが絶えず、まわりを幸せに元気にするパワーがある神宮和夫さんと恵美子さん。これからのご活躍に期待申し上げます。



分会役員として活躍する 安藤正樹さん

宮崎で生まれて高校を卒業してから上京。組合に加入して20年。入った当初から後継者対策部に選出され、柴又分会の中で活躍する安藤正樹さん（内装）は、今年60歳になる年男です。今では、柴又分会の分会書記長も兼任しながら活躍しています。

フライベートについての今年の抱負は、「健康が第一。元気に過ごして、あと10年は働きたい。」と謙虚に話す安藤さんですが、分会活動については、一転して「コロナの終息を願いながら、分会活動の活性化や、他分会との交流も積極的にしていきたい。人が集まると楽しい。」と。また、11月開催の若手交流会では、若い人が4人も役員になってくれた経験もあり、「もっともっと若い人を入れていきたい。」とも話していただきました。

そんな安藤さんは、これまでの経験から、人間関係や人

2023年を元気に過ごそう 笑顔あふれる卯年生まれ



川添克哉さんと長女・長男 3人での取材

もその影響を受けることなく、プライベートも家族の中で感染者も出なかった。家族を大切に

長女・長男・次女の3人の子供を育て、インタビュウ中にも子供から「やさしいパパ」と言われ笑顔で受け答えする川添克哉さん（細田高砂分会・とび）。5人家族の大黒柱として、やさしいパパとして活躍する今年36歳になる年男です。

コロナ禍であっても、仕事

している川添克哉さんは、「毎年GWと夏休みは、妻の実家がある長野県でバーベキューをしています。子どもが大きくなっても続けていきたい。」と、家族と過ごす時間を大切にしています。また、長女が習っているピアノについても「自分のためになるので、下手でもいいから続けてほしい。長男と次女についても自発的にやりたいことを見つけてほしい。」と温かいまなざしを同席した長女と長男に向けていました。

今年については、「特別大きな望みがあるわけではないが、みんなが幸せになれば良いと思っています。」と、謙虚ながらも家族や周りに向けた温かい望みを語っていただきました。

柴又分会 安藤正樹さん

つながりを大切に躍動の1年

とのつながり、そしてあいさつを大切にしています。人とのつながりを大切にしながら、仕事にも分会運営にも今年も活躍の年になりそうです。

葛飾支部公式LINE登録しよう

葛飾支部公式LINEにはもう登録しましたか？
登録すれば集団健診やイベント情報など組合の情報が定期的に送られますヨ。登録をして組合の情報をゲットしよう！

